

「望ましい環境都市の姿」各案の整理（令和3年9月3日 第1回環境審議会資料より）

案	1（事務局）	2（事務局）	3（事務局）	4（事務局）	5（小林悦子委員）	6（中村俊彦委員）	7（大串和紀委員）
「望ましい環境都市の姿」	自然ゆたかで住みやすいまちを未来の子ども達へ	豊かな環境をみんなで子どもたちにつなぐ	自然や資源を大切に守り活用する持続可能なまち ちばし	共に築き、未来の子ども達へ～自然豊かでみんなにやさしい住みやすいまち ちばし～	みんなで力を合わせて「自然豊かで住みやすい街」を創ろう！ そして未来につなげていこう！	ゆたかな自然のやさしいまち 子どもたちの未来に向け、お年寄りの知恵と経験を学び 緑あふれる住みやすい環境を保全・創造します！	持続可能なまちづくりに率先して取り組む千葉市 (又は) 率先して持続可能な環境創造に取り組む千葉市
「望ましい環境都市の姿」の方向性	各ステークホルダーから全般的に「自然の豊かさ」に関する内容や「暮らしの質向上」に関するキーワードが多く挙げられたことから、これらを将来世代に継承していく方向性とする。	各ステークホルダーからキーワードとして挙げた「自然の豊かさ」と「緑」を包含して「豊かな環境」とした。同じく頻出ワードの「子ども」で未来を感じさせている。「つなぐ」で持続可能性を表現。	市民などが重要視している自然に加え、事業者や市民団体などが資源循環を強く意識していることを踏まえ、有限である自然や資源を守りながらも適正に利用することを重視する方向性とする。	キャッチコピー本文は特定分野に特化した記載をせずに包括的な記載とし、キーワードとして多く挙げた「自然の豊かさ」をサブタイトルとして記載する。	「望ましい環境都市」とは ・目指す姿：理想的な環境とは、市民アンケート等にもあるように、自然豊かで住みやすい街だと集約できます。 ・現状の環境：さらに改善したいし、すべきであると思います。 ・誰が改善するのか：市民みんなで力を合わせて実行すべきでしょう。 ・誰のために：自分たちと未来の人々のためにだと思います。子供のためにという表現は子供が社会の構成員では無いような印象を与えます。子供は子供なりに環境活動に参加できるはずで。それに子供とはいつの時点での子供かも曖昧です。現在？未来？子供という語句を使いたいのは、未来を意識しているからではないかと考えました。	市民アンケートの結果（資料 5-5、p2）から、千葉市民が望む将来の環境として、「自然・自然豊か」「緑」「子ども」に加え「住みやすい」「豊か」「やさしい」「高齢者（お年寄り）」「未来」が明らかになったことをふまえ、自然環境保全を専門とする研究者として提出します。 （事務局の）追加案1を基調とし、現計画の「望ましい環境都市の姿：豊かな自然と生活環境を守り育みうるおいのある環境とともに生きるまちへ」の主旨も引き継ぐ案として。	都市の魅力とは、積極的に環境保全に取り組んでいるかどうかで判断される時代になってきたと思います。千葉市民が、市の環境保全等への取り組みについて、世界に向かって、誇りをもって語れるように、国の諸計画の後追いのものではなく、先進的で意欲的な環境基本計画を作りたいと願います。 （※中略） 地球環境の保全に優先して取り組まない人類そのものの未来が損なわれる異常事態になっているのです。千葉市でも、この事態を憂慮し、千葉市気候変動危機行動宣言を发出されたところでは。
基本理念（環境基本条例第3条）	第1項において「環境の保全及び創造は、市民が健康で安全かつ快適な生活を営む上で必要となる良好な環境及び人と自然が共生する環境を確保し、これを将来の世代へ継承していくことを目的として行われなければならない」旨が規定されており、将来世代への継承について言及している。	第1項において「環境の保全及び創造は、～持続的な発展が可能な社会を構築することを目的として」と規定。また、良好な環境等を将来世代へ継承していく旨が規定されている。	第2項において、「環境資源の有限性を認識し」、「環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会を構築」することが規定されている。	第3項において、すべての者が、自らの問題としてとらえなければならない旨が規定されている。			
市民アンケート	「緑」や「自然の豊かさ」に関するキーワードが多く挙げられ、「住みやすい暮らし」といった暮らしの質向上に関する言葉や「子ども」のような未来を連想させる言葉も多く挙げられた。	「豊かな」や「住みやすい」など暮らしの質の向上を望むようなキーワードが挙げられている。	「緑」や「自然の豊かさ」がキーワードとして多く挙げられている。	「緑」や「自然の豊かさ」がキーワードとして多く挙げられている。			現在、SDGsは世界の共通目標となっており、千葉市環境基本計画の計画期間は、2030年を目標としたSDGsの目標年と被ります。 そういう意味で、「望ましい環境都市の姿」キャッチコピーとして、「持続可能なまちづくりに率先して取り組む千葉市」、あるいは「率先して持続可能な環境創造に取り組む千葉市」を提案したいと思います。 （※中略）
子どもアンケート	環境像に関連する言葉として「緑」や「自然の豊かさ」が多く挙げられている。	環境像に関連する言葉として「緑」や「自然の豊かさ」が多く挙げられている。身近な生き物や水、空気環境を守ることに對してより意識が高いことが伺える。	環境像に関連する言葉として「緑」や「自然の豊かさ」が多く挙げられている。	「みんな」、「協力」というキーワードが多く挙げられ、「緑」や「自然の豊かさ」の他にも地球温暖化、リサイクル、空気や海のきれいさ等幅広い分野で意見が挙げられた。			
市民団体アンケート	未来を連想させる「子ども」や「豊かな」「住みやすい」など暮らしの質の向上を望むような言葉が多く挙げられている。	「豊かな」や「住みやすい」など暮らしの質の向上を望むようなキーワードが挙げられている。	「資源を効率的・循環的に利用したまち」の環境像が重要との回答が100%であり、資源循環を強く意識している。	「緑」や「自然の豊かさ」がキーワードとして多く挙げられている。			千葉市の先進性・積極性を表すキャッチコピーが良いと思います。
事業所アンケート	「自然の豊かさ」「子ども」といったキーワード、暮らしの質の向上を望むような言葉が多く挙げられている。	「自然の豊かさ」「子ども」といったキーワードが多く挙げられている。	「資源を効率的・循環的に利用したまち」の環境像が重要またはやや重要と回答した割合が、他の環境像と比べて多かった。	「緑」や「自然の豊かさ」がキーワードとして多く挙げられている。			